

一足早い たがさぼのクリスマス

「たがさぼのクリスマス雑貨市 2022」は12月4日、市民活動サポートセンターで行われ、市民活動を行う33団体とボランティアが各ブースを運営しました。

販売ブースでは、多賀城名物のやかもち鍋や焼き菓子などの食べ物、アクセサリーをはじめとした雑貨店などが軒を連ねました。ワークショップブースでは、折り紙やブローチづくり、絵本の読み聞かせ、書道などの実演が行われ、外あそびブースでは、ハンモックやスポーツ体験、けん玉あそびなどが実施されました。

来場者は、お目当てのブースを訪れ、一足早いクリスマスを満喫していました。



古代の重要な資料が発掘されました

「重要な発掘調査成果に関する記者発表」は12月6日、中央公民館で行われました。

平成29年度から31年度までに市川字伏石地内で発掘調査を行った結果、大規模な建物や池を持つ役人の邸宅跡から、仏教に関する遺物がまとまって出土しました。出土した地層から、西暦915年の十和田火山の噴火以前の時代であることが確実で、年代が分かる古代の木製仏像部品の発掘は市内で初めてで、全国的にも非常に珍しく、学術的価値が高いものです。

古代の人々の信仰、仏教美術に関わる重要な資料を、報道機関などを通じて広く発信しました。



読書はすべての人の喜び

「子どもの『読みづらい』を助けるアクセシブル資料の活用」は12月11日、市立図書館で行われ、現地・オンラインを含めた11人が参加しました。

講師のりんごプロジェクトの佐藤聖一さん、古市理代さんから、アクセシブル資料とは、文字を読むことや内容の理解が難しい人でも読書が楽しめるように工夫されたものであることが説明されました。

具体的には、点字図書・絵本、布絵本、大活字本、録音図書、LLブック(やさしく読みやすい本)などが該当し、大きな文字や振り仮名、点字、絵記号、音声などの配慮がされています。参加者は、自分に合った読書を選ぶ多様性を学びました。



1年間の成果を腕試し

「令和4年度スポーツフェスティバル」は12月11日、市民プールで行われ、50人の子どもたちが参加しました。

前半は競泳の記録会を行い、クロールや平泳ぎ、個人メドレーなど、種目ごとにタイムを計り、日々の練習の成果を試しました。子どもたちはゴールまで一生懸命に泳ぎ、ゴールすると会場から拍手が沸き起こりました。

後半はお楽しみ企画として、障害物競争やパンつかみ競争、宝探しにみんな奮闘しました。

フェスティバルの最後はお楽しみ抽選会が行われ、プレゼントを受け取った子どもたちはうれしそうな様子でした。



子どもたちの安全を守るために

「スリーエム ジャパン スクールゾーン・プロジェクト 目録贈呈式」は12月20日、山王小学校で行われ、6学年の児童約130人が出席しました。

このプロジェクトは、スリーエムジャパン(株)が通学路の安全性向上を目指す取り組みの1つとして行っているもので、本市は国内で2番目に実施されました。

通学路の縁石などに反射材が設置され、全児童にランドセルなどにつける反射材が贈られました。

贈呈式後、飛び出し注意を促すために、「とまれ」と書かれた路面標示材の施工セレモニーを正門前で行いました。



ソニー仙台 1年の闘いを終えて

ソニー仙台FCが11月20日に閉幕した第24回日本フットボールリーグ(JFL)の結果報告のため12月23日、市役所を訪れました。

2022シーズンは全16チーム中14位で戦いを終え、悔しい結果となりました。就任1年目の鈴木監督は、勝ちきれなかったのは自分の力不足だと振り返りましたが、キャプテンの秋元選手は、J1クラブも率いた監督の新しいサッカーはとても楽しかったからこそ、次は結果を出したいと、希望を抱いていました。

2023シーズンは、2015シーズン以来の優勝をつかみ取ると、チーム一丸となって闘うことを誓いました。

みんなの児童館がピッカピカ

「ピッカピカ大作戦」は12月28日、鶴ヶ谷児童館で行われ、幼児および小学生19人と保護者が参加しました。

子どもたちは、館内のカーペットを粘着ローラーで掃除しました。ローラーの使い方に不慣れな小さい子どもには、小学生が手助けしてあげるなど、子ども同士が協力して取り組みました。

また、館内で飼育している亀「カメ吉」の水槽もみんなできれいにしました。

1年間みんなで遊んだ児童館を、自分たちの手できれいにし、すがすがしい気持ちで新年を迎える準備ができました。



地域を守る決意を新たに

「令和5年多賀城市消防団出初式」は1月3日、さんみらい多賀城イベントプラザ(STEP)で行われ、団員約100人が参加しました。

式では津田孝造団長による人員報告の後、深谷市長をはじめとする観閲者や来賓に対する敬礼、ラッパ隊の生演奏など、精練された基本動作(礼式)を披露しました。また、優良消防団員などへの表彰も行われました。

身が引き締まる冬の空気のなか、団員らは地域防災の要として、地域を自らの手で災害から守っていく士気や結束力を高めました。